

追跡「執行部の答弁は実行されているのか？」 一般質問のその後

過去の一般質問の
状況を追ってみました。

妊婦健診、二回の 助成を五回に

■問
妊婦健診助成の拡充

少子高齢化となり合計特殊出生率（1人の女性が産む子供の数）は、1971年の2・16人に対し、2006年には4割減の1・32人となり、対策が求められています。

妊婦健診の無料回数をさらに拡充して助成するよう求めるものです。

■答 中嶋町長

現在は2回の助成を行っています。少子化は国の存亡にかかる大きな問題であり、本来は国が行うべき事業であろうと思っておりますが、国からは何の補償もないのが実情です。

しかし、先取りした形でやっていった方がよいのではという気持ちを持っています。次の市町長会で最終的に決定すると思っております。



妊婦一般健康診査受診券等

◇検討結果◇

妊婦健診助成の拡充については、妊娠届出による母子手帳発行時に、妊婦一般健康診査受診券としてお渡しし、平成20年4月から初診については1万円、2回目から5回目については6000円の計5回、3万4000円の助成を実施しています。

また以前の受診券については、計2回の助成しかなかったため、平成20年4月1日以前に妊婦一般健康診査受診券を受領され、出産を迎えていない方に対しても国が示す適切な受診週数に基づき、交付枚数を調整し、4月1日から5月30日の期間に受診券の交換および再発行を行いました。

「産科医療補償制度」

お産をした時に何らかの理由で障害を抱えた赤ちゃんとそのご家族のことを考えた新しい補償制度です。



須恵町国民健康保険の出産一時金が35万円から38万円に改められました。

平成21年1月1日以降に産科医療補償制度に加入している医療機関等で出産された場合、国民健康保険から支給される出産育児一時金の額が3万円引き上げられ38万円（制度に加入していない医療機関等で出産した場合、従来どおり35万円）になります。

これは、分娩に関連し文教厚生

て発症した重度脳性麻痺の赤ちゃんとその家族の経済的負担を補償するとともに、脳性麻痺発症の原因分析を行い再発防止のための情報提供を行うことを目的としています。紛争の防止・早期解決および産科医療の質の向上を図るために創設された「産科医療補償制度」の掛金負担に伴い、分娩費の上昇が見込まれるための改正です。

図書館を UVから守れ！

窓に光防止の塗装

町立図書館（あおば会館1階）の窓に、書籍等を保護するため透明赤外線反射塗料コーティングをします。

費用は、47万9000円です。

工事費の変更・・・なぜ？

内原～大谷線 道路改良 請負金額1億2075万円が、1億5405万6000円に追加補正され（通称：クリーンパークわかすぎ）のアクセス道路として整備が進んでいる当道路の平成20年度の工事画の5期目で守母神社入口付近の改良です。

追加の内容は、警察協議等でのカーブと高低の変更によるもので①予定より地盤が軟弱だったためアンカーの強化②排水口周りの補強③取り付け道路の延長です。安全性を最重視したことが追加の理由です。

（全員賛成で可決）

復活！

暫定税率

財政にちよつと余裕が 暫定税率復活によって、自動車重量税と、地方道路譲与税、自動車取得税交付金の11ヶ月分、合わせて2739万4000円が追加補正になりました。

（全員賛成で可決）



内原～大谷線道路改良工事 現場確認を行う議員団

総務建設産業